

令和4年度・令和5年度の主な取組(島田市)

令和4年度実施

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- 河川の氾濫等による浸水が頻発する地域において住民自らが河川の状態を把握し、避難の判断ができるよう市管理の1河川(南原沢川)に危機管理型水位計を設置した。

○地域住民の防災意識向上のための取組

- 学校水防災教育の継続実施
 - ・市内小・中学校にて、水防災教室を実施し、児童・生徒の防災に関する知識と意識の向上を図った。
- 洪水・土砂災害ハザードマップの更新
 - ・配布・想定最大規模のハザードマップを作成・配布し、市民へ周知した。



○迅速な水防活動・排水活動の取組

- 水防訓練の実施
 - ・各種土のう工法の訓練を継続実施し消防団等の技術と意識の向上を図る。
 - ・自主防災組織の参加により地域住民の防災に関する技術と意識の向上を図る。
- 土のうステーションの常設化
 - ・大雨や台風等に起因する浸水被害に対する住民の自衛活動の支援を目的とした市内5か所に土のうステーションを常設している。



令和5年度予定

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- 令和4年度に設置した危機管理型水位計の継続した運用と、新たに1箇所危機管理型水位計を設置する。

○地域住民の防災意識向上のための取組

- 学校水防災教育の継続実施
 - ・市内小・中学校にて、水防災教室を実施し、児童・生徒の防災に関する知識と意識の向上を図る。
- 洪水・土砂災害ハザードマップの説明会
 - ・令和4年度に作成した洪水・土砂災害ハザードマップの活用方法を踏まえた説明会を実施し、住民自らが災害リスク及び適切な避難行動を正しく理解できるよう防災能力向上を図る。



○迅速な水防活動・排水活動の取組

- 水防訓練の継続実施
 - ・各種土のう工法の訓練を継続実施し消防団等の技術と意識の向上を図る。
 - ・自主防災組織の参加により地域住民の防災に関する技術と意識の向上を図る。
- 土のうステーションの継続実施
 - ・大雨や台風等による浸水被害に対する住民の自衛活動の支援のため、引き続き土のうステーションを運用していく。



令和4年度・令和5年度の主な取組(焼津市)

令和4年度実施

○地域住民の防災意識向上のための取組



洪水ハザードマップを作成し、令和4年5月に全戸配布
市民への説明会を実施

○迅速な水防活動・排水活動の取組

【総合水防訓練】洪水と土砂災害が同時に進む災害に対応



【水害対応訓練】

【情報通信訓練】国土交通省との連携



【災害情報共有システムの構築】

～災害発生前の事前準備・情報収集時から災害対応までの一連を支援するシステム～



- 災害情報収集機能
 - ・河川水位・雨量
 - ・気象情報など
- 情報の一元配信機能
 - ・防災メール (LINE)
 - ・Twitter、Facebookなど
- 災害情報共有機能
 - ・気象情報・被害情報
 - ・各種情報を地図表示
 - ・避難者情報など
- 防災ポータル(市民公開)
 - ・避難情報、避難所開設情報
 - ・道路規制・冠水情報
 - ・河川水位、カメラ情報など

令和5年度予定

○地域住民の防災意識向上のための取組

小中学校に防災教育として水害に関する知識の向上を図ることを目的として、ハザードマップを活用した出前講座の実施

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

焼津市水防監視システムの拡張



河川監視カメラ5基
河川水位計2基
雨量計2基
新設: 栄田川(水位計)
新設: 冠水センサー

災害情報共有システム(防災ポータルサイト)の運用



災害時に必要な情報を視覚的に分かりやすく

○大規模氾濫に関する減災対策に必要な取組

小石川水系遊水地設計業務委託の実施
栃山川水系流域治水対策検討業務委託の実施



令和4年度・令和5年度の主な取組(藤枝市)

令和4年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組

●洪水災害版マイ・タイムラインの普及

令和4年台風15号では、市内各所で浸水被害が発生。このような洪水災害から、市民が「逃げ遅れない」ための対策として、「洪水災害版マイ・タイムライン」の全戸に普及。

「手順書・リスクシート・学習資料」



「マイ・タイムラインシート」



○被害軽減のための基盤等の整備

●藤枝市水位・雨量観測システム

市内各所に取り付けた水位計・雨量計で河川の水位や雨量を携帯やパソコンから24時間いつでもリアルタイムで確認が可能。新規に設置したライブカメラでは、実際の河川の様子を見ることも可能。

「水位計」



令和5年度予定

○地域住民の防災意識向上のための取組

●出前講座の開催

・既に配布済みの土砂災害版マイ・タイムラインと、これから配布する洪水災害版マイ・タイムラインの作成を普及するため、出前講座に「マイ・タイムラインを作成しよう」のテーマを新規に開設。

●ハザードマップの周知

・洪水ハザードマップの更なる周知



令和5年度 出前講座

台風や大雨に備えて
～あなたの命を守るために～

令和5年度 出前講座

藤枝市 都市建設部 基盤整備局
河川課 水害対策室

マイ・タイムラインを作成しよう
～自分自身の防災行動計画～



藤枝市 都市建設部 基盤整備局
河川課 水害対策室

○被害軽減のための基盤等の整備

●藤枝市水位・雨量観測システムの更なる充実

市内中小河川に水位計、雨量計、河川監視用ライブカメラを設置し、24時間いつでもリアルタイムに河川の状況が確認できる体制を整備し、水防配備体制の移行の判断や住民の避難行動啓発に活用する。

河川監視用
カメラ



令和4年度・令和5年度の主な取組(牧之原市)

令和4年度実施

○ハード対策の主な取組

- ・緊急浚渫事業により、河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採を実施。
- ・準用河川沢垂川の河川改修を実施。



○地域住民の防災意識向上のための取組

- ・防災指導員養成講習会において、風水害対策の講座を実施。
- ・地域団体や市内小中学校へ風水害対策の講座を実施。

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- ・「わたしの避難計画」の作成(沿岸部)
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成

○迅速な水防活動・排水活動の取組

- ・排水ポンプ車の運用。平常時から点検及び訓練を実施。



令和5年度予定

○ハード対策の主な取組

- ・緊急浚渫事業により、河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採を実施。
- ・準用河川沢垂川の河川改修を実施。

○地域住民の防災意識向上のための取組

- ・地域団体や市内小中学校へ風水害対策の講座を実施。

風水害について



○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- ・「わたしの避難計画」の全戸配布(山間部)
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練実施の促進(関係各課との連携強化)

○迅速な水防活動・排水活動の取組

- ・排水ポンプ車の運用。平常時から点検及び訓練を実施。

令和4年度・令和5年度の主な取組(吉田町)

令和4年度実施

○ハード対策の主な取組

- ・令和4年5月に策定された「坂口谷川水災害対策プラン」に基づき、第3号ポンプ場整備事業に着手
- ・二級河川湯日川流域治水対策検討に着手
- ・河川浚渫工事の実施

○地域住民の防災意識向上のための取組

- ・静岡県、島田市、牧之原市及び川根本町と共催して総合防災訓練を実施



- ・防災講座を複数回行うことで、町民及び地域の防災力の向上
- ・要配慮者利用施設避難確保計画の作成支援

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- ・静岡県と共同で作成した「わたしの避難計画」を令和5年2月に全戸配布

○迅速な水防活動・排水活動の取組

- ・大井川河口の右岸に国が整備した大井川川尻地区河川防災ステーション及び水防活動の拠点となる水防センターを活用した水防活動の実施

令和5年度予定

○ハード対策の主な取組

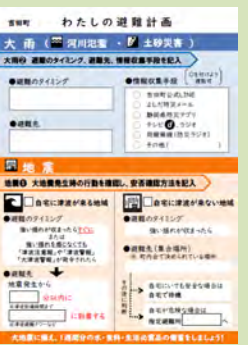
- ・第3号ポンプ場整備事業(工事)の実施
- ・二級河川湯日川流域治水対策計画の策定
- ・河川浚渫工事の実施

○地域住民の防災意識向上のための取組

- ・防災講座を複数回行うことで、町民及び地域の防災力の向上
- ・要配慮者利用施設避難確保計画に基づく支援等
未策定施設に対し、計画作成支援
関係各課との連携強化

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- ・静岡県と共同で作成した「わたしの避難計画」を防災訓練や出前講座等で活用することにより減災に繋げる



○迅速な水防活動・排水活動の取組

- ・大井川河口の右岸に国が整備した大井川川尻地区河川防災ステーション及び水防活動の拠点となる水防センターを活用した水防活動の実施

令和4年度・令和5年度の主な取組(川根本町)

令和4年度実施

○ハード対策の主な取組

河川に堆積した土砂を撤去するための費用を補正予算に計上し、重機借上による河床の掘削を実施しました。



○地域住民の防災意識向上のための取組

総合防災訓練時に、町内の各地区において一次避難訓練、避難所開設訓練等を行政、消防団、住民が協力し合い行った。



○迅速かつ的確な避難行動のための取組

災害対策本部・支部運営訓練を行い、指示系統や連絡体制の確認を行った。



○迅速な水防活動・排水活動の取組

大雨時の河川巡視やの水防活動は消防団が担っている。ポンプ点検を行う際に資機材や操作の確認を行い、機材を扱う職員の育成を行なった。



令和5年度予定

○ハード対策の主な取組

河川に堆積した土砂を撤去するための予算を増額し、予防的な水害対策を実施します。



○地域住民の防災意識の向上のための取組

・地域版タイムライン作成研修の開催

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

令和4年度に改定したマニュアルを確認しながら、令和5年9月の総合防災訓練時に行政・消防団・住民の協力や連携を図ることにより、防災意識の向上と的確な避難行動がとれるように検証します。



○迅速な水防活動・排水活動の取組(継続)

大雨時の河川巡視やの水防活動は消防団が担っている。ポンプ点検を行う際に資機材や操作の確認を行い、機材を扱う職員の育成を行なっている。

令和4年度・令和5年度の主な取組(静岡県危機管理部)

令和4年度実施

○「わたしの避難計画」の普及



作成サイトのちらし



ちらし(こども向け)



学校防災担当者研修会(中部地域)
(令和4年11月25日)

○令和4年台風第15号への対応に関する「ふりかえり」

・台風第15号への対応において、孤立集落の被災情報の確認や収集に課題が見られたことから、県と市町が共に「ふりかえり」を行うため、危機管理担当幹部職員による「連絡会議」を実施し、課題の共有と今後の災害発生に備えた対応策を確認し、連携の強化を図った。



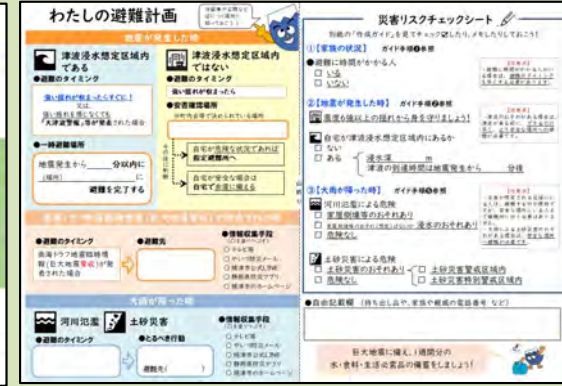
令和4年台風第15号への対応に関する連絡会議(令和4年11月30日)

令和5年度予定

○「わたしの避難計画」など、避難行動を促す取組の実施



わたしの避難計画(静岡市)



わたしの避難計画(焼津市)

○防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上



防災アプリ「静岡県防災」



令和4年度・令和5年度の主な取組(静岡県中部地域局)

令和4年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組

・市町風水害版図上訓練(演習)の実施

市町の防災担当職員等を対象とし、風水害に対応した気象庁が作成した「市町防災担当者向け気象防災ワークショップ」を実施。

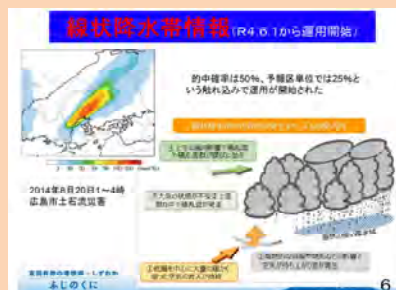


R4 気象防災ワークショップ

○住民の防災意識向上のための取組

・企業等への出前講座の実施

管内の企業や自主防災会に対し、近年における風水害の現状と課題や平時から備えるべき事項に関する出前講座を実施。



出前講座テキスト

・水防災に関する防災教育の推進

地震・津波を中心に進めている「防災出前講座」において、近年全国で多発している風水害に関する防災講話を実施。

・メールマガジンによる情報提供

管内の企業等に防災情報のメールマガジンを発信。

令和5年度予定

○逃げ遅れゼロのための取組

・市町風水害版図上訓練(演習)の実施

昨年度に引き続き、「住民の避難行動」の改善及び市町の防災担当職員のスキルアップを目的に、気象庁が作成した「市町防災担当者向け気象防災ワークショップ」を実施する。

【参加予定機関】

- 管内7市町 防災担当職員
- 静岡地方気象台
- 静岡河川事務所
- 県関係各課及び出先機関

○住民の防災意識向上のための取組

・企業等への出前講座の実施

昨年に引き続き、管内の企業や自主防災会に対し、近年における風水害の現状と課題や平時から備えるべき事項に関する出前講座を実施する。

・水防災に関する防災教育の推進

昨年に引き続き、風水害に関する防災講話を実施する。

・メールマガジンによる情報提供

昨年に引き続き、管内の企業等に気象関係や水防災情報を記載したメールマガジンを発信する。



防災講話の様子

令和4年度・令和5年度の主な取組(静岡県河川砂防局)

令和4年度実施

○ソフト対策の主な取組①

(1) 平時から住民等への周知・教訓・訓練

① 想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の作成・公表

・洪水予報河川、水位周知河川以外の中小河川の洪水浸水想定区域図の作成により、住民に浸水リスクを周知するとともに、市町が作成するハザードマップへの反映を支援していく。



(巴川水系大谷川 洪水浸水想定区域図)

● 令和4年6月30日公表

静岡土木管内: 大谷川ほか16河川

島田土木管内: 高草川ほか12河川

○ソフト対策の主な取組②

(1) 情報伝達の強化、避難計画等の策定

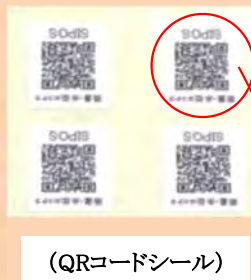
③ 住民の避難行動を促すための洪水予測や水位情報などの情報提供の強化

・サイポスレーダースマートフォン版に、新コンテンツ(英語サイト、ポルトガル語サイト、やさしい日本語サイト)を実装した。

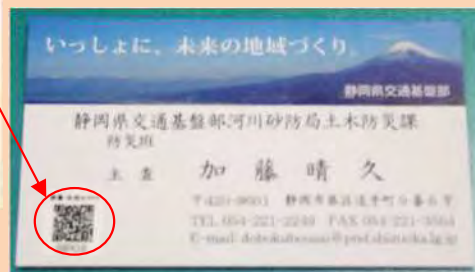
・サイポスレーダーをより多くの方へ知って利用してもらうために、名刺に貼るサイポスレーダーのQRコードシールを作成し、職員に配布した。



(スマートフォン版:英語サイト)



(QRコードシール)



令和5年度予定

○ソフト対策の主な取組①

(1) 平時から住民等への周知・教訓・訓練

⑥ 地域住民等への水防災教育の実施

・県庁見学会等を活用し、水害リスクや情報の入手方法等を説明する。
・市町防災職員向けの研修会・意見交換会の開催する。
・市町が開催する研修会・説明会において、水害リスク情報等について説明する講師として職員の派遣し支援する。

(令和5年5月21日の静岡市水防団説明会に参加し、サイポスレーダーの見方、使い方を説明等を説明する。)

・『流域治水』の取組を地域の皆様に御理解いただくとともにさらに強力に推進するため、「筆文字ロゴ」を作成。広報等を用いて積極的に活用する。



(平成30年度県庁見学会の様子)

○ソフト対策の主な取組②

(1) 情報伝達の強化、避難計画等の策定

⑦ 洪水対応情報伝達演習の実施

・出水期前に水防警報等の情報を迅速かつ的確な伝達体制に万全に期すことを目的に、県管理河川を対象とする洪水対応演習を実施する。

(令和5年5月31日予定)



(令和4年度県管理河川洪水対応演習の様子)

令和4年度・令和5年度の主な取組(静岡県島田土木事務所)

令和4年度実施

○ハード対策の主な取組

河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採による流加能力の保全

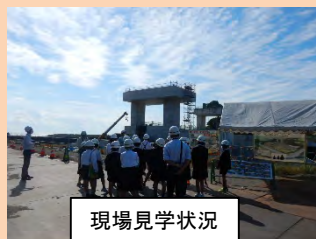
国土強靱化総合流域防災事業により、管内15河川、県土強靱化対策事業等により管内35河川における河道掘削や樹木伐採などの工事を実施。



○地域住民の防災意識向上のための取組

水害の出前講座の実施

水害リスクを防ぐ施設の建設現場を体感してもらうため坂口谷川水門にて出前講座を実施



○迅速かつ的確な避難行動のための取組

想定最大規模の洪水浸水想定区域図の作成

朝比奈川ほか8河川において、洪水時に堤防が破堤防または溢水したという仮定の下「洪水浸水想定区域図」を作成。

○迅速な水防活動・排水活動の取組

ホットライン訓練の実施

島田土木事務所長と管内各市町長とのホットライン体制を構築し、ホットライン体制の相互確認のための訓練を実施した。



令和5年度予定

○ハード対策の主な取組

河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採による流下能力の保全

国土強靱化総合流域防災事業や緊急河川浚渫対策事業などにより、管内の河川における河道掘削や樹木伐採などの工事を実施。

○地域住民の防災意識向上のための取組

水害・土砂災害の出前講座の実施

地域の危険箇所や避難経路を確認するための手作りハザードマップの作成など、適切な避難のための出前講座を実施

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

想定最大規模の洪水浸水想定区域図の作成

笹間川ほか26河川において、洪水時に堤防が破堤防または溢水したという仮定の下「洪水浸水想定区域図」を作成。

○迅速な水防活動・排水活動の取組

ホットライン訓練の実施

雨期前に島田土木事務所長と管内各市町長とのホットライン体制を構築し、ホットライン体制の相互確認のための訓練を実施。

洪水予報演習の実施

雨期前に洪水予報演習を3回実施。

令和4年度・令和5年度の主な取組（静岡地方気象台）

令和4年度実施

○地域住民の防災意識向上のための取組

→静岡の自治体等に防災意識向上のための普及・啓発を行った。

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

→静岡の自治体等にキキルの使い方を周知した。

→キキルのカラーコードと警戒レベルを統一した。

大雨特別警報の基準値への到達を示す「災害切迫」（黒）を警戒レベル5相当として新設。これまでの「非常に危険」（うす紫）と「極めて危険」（濃い紫）を統合し、警戒レベル4相当の「危険」（紫）に一本化。これにより、キキルと警戒レベルとの齟齬を解消し、警戒レベル相当としてより分かりやすく伝えるようにした。

警戒レベル	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル5 緊急安全確保
警戒レベル相当情報	警戒レベル3相当 大雨・洪水警報 キキル：警戒	警戒レベル4相当 土砂災害警戒情報 キキル：非常に危険	警戒レベル5相当 大雨特別警報 キキル：極めて危険

①警戒レベルのカラーコードと一致していない。
②キキル「黒」が無く、市町村は警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の判断が困難。

現状	改善後
<ul style="list-style-type: none"> 土砂キキル <ul style="list-style-type: none"> 極めて危険 非常に危険【警戒レベル4相当】 警戒【警戒レベル3相当】 注意【警戒レベル2相当】 今後の情報等に留意 浸水キキル <ul style="list-style-type: none"> 極めて危険 非常に危険 警戒 注意 今後の情報等に留意 洪水キキル <ul style="list-style-type: none"> 極めて危険 非常に危険【警戒レベル4相当】 警戒【警戒レベル3相当】 注意【警戒レベル2相当】 今後の情報等に留意 キキル通知サービス <ul style="list-style-type: none"> 極めて危険【災害発生のおそれ】 非常に危険【警戒レベル4相当】 警戒【警戒レベル3相当】 注意【警戒レベル2相当】 今後の情報等に留意 	<ul style="list-style-type: none"> 土砂キキル <ul style="list-style-type: none"> 災害切迫【警戒レベル5相当】 危険【警戒レベル4相当】 警戒【警戒レベル3相当】 注意【警戒レベル2相当】 今後の情報等に留意 浸水キキル <ul style="list-style-type: none"> 災害切迫【警戒レベル5相当】 危険 警戒 注意 今後の情報等に留意 洪水キキル <ul style="list-style-type: none"> 災害切迫【警戒レベル5相当】 危険【警戒レベル4相当】 警戒【警戒レベル3相当】 注意【警戒レベル2相当】 今後の情報等に留意 キキル通知サービス <ul style="list-style-type: none"> 災害切迫【警戒レベル5相当】 危険【警戒レベル4相当】 警戒【警戒レベル3相当】 注意【警戒レベル2相当】 今後の情報等に留意

令和5年度予定

○地域住民の防災意識向上のための取組

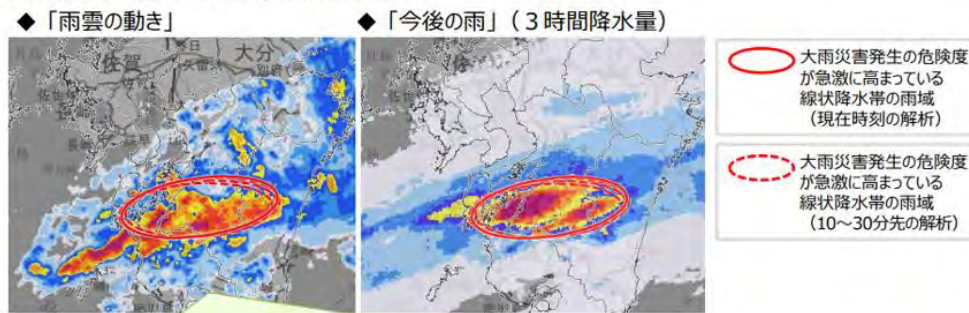
→引き続き、静岡の自治体等に防災意識向上のための普及・啓発を行う。下の写真は今年度に行ったもので、左が中学校との気象庁ワークショップの様子で、右が自治体との気象防災ワークショップの様子である。



○迅速かつ的確な避難行動のための取組

→顕著な大雨に関する気象情報の新運用とその情報を補足する図情報の更新が行われたので、引き続き静岡の自治体等に、キキルに加えて、その使い方を周知する。

【気象庁ホームページにおける表示例】



ある時刻（現在時刻）に解析された線状降水帯の雨域を実線の楕円で、現在時刻から10～30分先に解析された線状降水帯の雨域を破線の楕円で表示。

令和4年度・令和5年度の主な取組(長島ダム)

令和4年度実施

○ダムの機能を最大限活用する運用方法の取組み

洪水時に下流の被害を軽減するため、ダムの機能を最大限活用する洪水調節方法の導入に向けた検討を引き続き実施する。

○地域住民の防災意識向上のための取組

コロナウイルス感染拡大防止を徹底し、ダム見学に訪れた小中学生に向けて、ダム役割と限界、早めの避難の重要性について説明を実施。



長島ダムでの説明状況



ダム堤体内での説明状況

○避難勧告等の発令判断を支援するための トップセミナーの定例化

川根本町と定例会を実施し、避難勧告等の発令判断を支援するためのトップセミナーを継続実施していく。

令和5年度予定

○ダムの機能を最大限活用する運用方法の取組み

洪水時に下流の被害を軽減するため、ダムの機能を最大限活用する洪水調節方法の導入に向けた検討を引き続き実施する。

○地域住民の防災意識向上のための取組

ダム見学に訪れた小中学生に向けて、ダム役割と限界、早めの避難の重要性について説明を実施。



長島ダムでの説明状況



ダム堤体内での説明状況

○避難勧告等の発令判断を支援するための トップセミナーの定例化

川根本町と定例会を実施し、避難勧告等の発令判断を支援するためのトップセミナーを継続実施していく。

令和4年度・令和5年度の主な取組(静岡河川事務所)

令和4年度実施

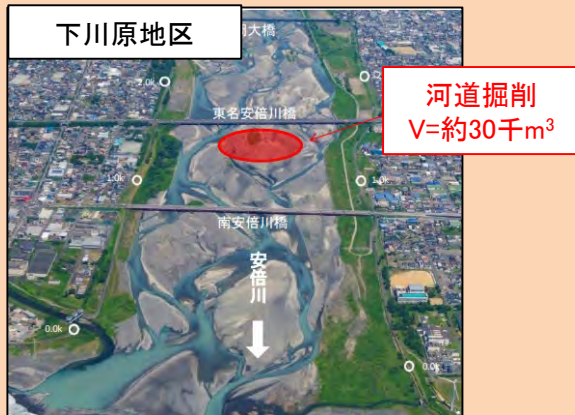
○ハード対策の主な取組

■安倍川:洪水を河川内で安全に流す対策

- ・洪水を安全に流下させるために、安倍口地区等において堤防の高さ・断面不足箇所の整備を実施。
- ・洪水を安全に流下させるために、下川原地区等において河道掘削を実施。
- ・侵食破堤のリスク軽減を図るために、低水護岸工による侵食対策を福田ヶ谷地区などで実施。

▼堤防の整備状況(R3末時点)

	堤防必要区間	計画断面堤防区間		暫定断面堤防区間	
	延長(km)	延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)
整備計画策定時	52.1	32.3	60.0	14.1	26.0
現況		40.3	77.4	11.8	22.6



■大井川:洪水を河川内で安全に流す対策

- ・洪水を安全に流下させるために、神座地区等において堤防整備、飯淵・川尻地区で河道掘削を実施。
- ・侵食破堤のリスク軽減を図るために、低水護岸工による侵食対策を阪本地区等で実施。
- ・災害時の緊急復旧活動を行う施設「河川防災ステーション」を、市町と共同で中島・川尻地区に整備し、令和4年度に完成。

▼堤防の整備状況(R3末時点)

	堤防必要区間	計画断面堤防区間		暫定断面堤防区間	
	延長(km)	延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)
整備計画策定時	38.6	35.8	92.7	2.8	7.3
現況		36.8	95.3	1.8	4.7



令和4年度・令和5年度の主な取組(静岡河川事務所)

令和4年度実施

〇ソフト対策の主な取組

(1) 平時からの住民等への周知・教育・訓練

⑥地域住民等への水防災教育の実施 ⑧マイ・タイムラインの推進

・・・水防災教育学生サポーター制度を活用したマイタイムライン作成授業の実施、防災教育ポータルサイトの公開



▲8/22 島田商業高校における授業



▲9/7 駿河総合高校における授業



(2) 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

①流域タイムラインの作成

②タイムラインの検証及び改善

・・・R4台風15号をふまえた事務所タイムラインの検証・見直し

河川水位	状況	静岡地方気象台	河川事務所	静岡市	静岡県
3日前準備	3日前に台風が 接近し警戒する 3日前に大雨が予想され 安倍川流域に警戒する	・お届に関する静岡県気象情報発表 (台風発生発表) ・避難注意情報発表(中・高)	・WED会議ツールによる危険情報の共有 ※WED会議を継続可能な体制を確保		
1日前準備	1日前に台風が 接近し警戒する 1日前に大雨が予想され 安倍川流域に警戒する	・お届に関する静岡県気象情報発表 (台風発生発表) ・避難注意情報発表(中・高) ・お届に関する静岡県気象情報発表 (高)	・職員(課門)発令の操作人員・連絡 体制等の確認 ・災害対策本部・災害対策本部 の発令 ・災害対策本部への連絡体制等の確認 ・防災エクスパートへの連絡体制等の確 認 ・J-ETシステム体制の確認 ・河川工事関係の安全管理の確認 ・工業団地の安全管理の確認	・危機対応本部(関係部)発令 ・タイムラインの変更 ・体勢の確認 ・水防対策への情報提供、注意喚起 ・河川、気象の情報収集	
発生時対応	・大雨注意報・洪水注意報発表 ・お届に関する静岡県気象情報発表 (高)	・避難体制	・避難体制		
事後対応	・水防団前線水位退避		・河川水位情報等での状況把握 ・河川水位情報等での状況把握 ・河川水位情報等での状況把握 ・河川水位情報等での状況把握		

▲安倍川 流域タイムラインの例

『水防災教育学生サポーター制度』とは
水防災教育授業に、教員補助や生徒への助言等のサポーターとして、
学生を派遣することにより、水防災教育の導入にあたっての教員負担を
軽減し、普及・拡充を促進

河川事務所側のメリット

- ・水防災授業支援職員の不足解消・負担軽減
- ・水防災教育実施校の拡充による水防災教育の普及拡大
- ・国土交通省の水ビジョンの取組の理解促進(学生・大学向け)



学生・大学側のメリット

- ・行政の取組の理解促進・体験
- ・社会貢献機会
- ・進路先の検討
- ・就職活動でのPR



▲事務所・学生相互にメリットのある仕組み

令和4年度・令和5年度の主な取組(静岡河川事務所)

令和5年度予定

○ハード対策の主な取組

■安倍川:洪水を河川内で安全に流す対策

- ・手越地区、下川原地区において、洪水を安全に流下させるために土砂堆積箇所において河道掘削を実施。
- ・樹木繁茂により洪水の流下に支障がある区間において、樹木伐採を実施。



■大井川:洪水を河川内で安全に流す対策

- ・飯淵・川尻地区において、洪水を安全に流下させるために土砂堆積箇所において河道掘削を実施。
- ・樹木繁茂により洪水の流下に支障がある区間において、樹木伐採を実施。



令和4年度・令和5年度の主な取組(静岡河川事務所)

令和5年度予定

〇ソフト対策の主な取組

(1) 平時からの住民等への周知・教育・訓練

⑥ 地域住民等への水防災教育の実施

・・・水防災教育学生サポーター制度の展開・継続運用として、小中学校向け教材でのサポート内容の検討、その他機関との連携検討、希望校における支援を実施予定



小学生向け教材

※下記教材セットは、2限分の授業が可能

この教材は、以下の内容が1つのパッケージとしてそろっています。



1. 教材説明書 2. テキスト 3. 教材ガイドブック 4. 指導計画



5. モデル校の事例 6. 写真パネル



7. 浸水エリア 8. 等身大パネル

授業に活用できる動画等の素材はこちらからダウンロードできます
<http://52.197.204.213/shizuoka/>



中学生向け教材

※下記教材セットは、2限分の授業が可能



1. 教材説明書 2. テキスト 3. ワークシート 4. リーフレット



5. 近年水害概要シート 6. タイミングシート 7. 授業用スライド(データ)



8. 授業案 9. モデル校の事例

(2) 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

① 流域タイムラインの作成

・・・出水期の活用等を踏まえ課題等(各市町の行動のタイミングや、それらを判断するための情報についての要望等)の意見集約を行い、実態に即した更新を実施予定